

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804136

案件番号 :1884856

主分野課題 :経済政策/金融

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

経済のグローバル化が進展する中、一国の金融市場の動向は国際的な金融市場にも影響を与える。金融市場の安定のため中央銀行の果たす役割は大きく、その人材および組織の能力強化は重要な課題である。本件はアセアン各国の中央銀行課長級以上職員を対象に、日本の経験も踏まえて中央銀行の役割、金融政策立案と管理につき研修を行う。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

アセアン各国の中央銀行職員が中央銀行の役割と機能、適切な金融政策立案と実施方法について理解し実践できるようになる。

【成果】

- (1) 経済・金融状況の安定化に向けて中央銀行が果たすべき役割と機能について、自国の現状に基づき理解し説明できる。
- (2) 中央銀行の政策・システム及び研究・分析について適正に評価し、自国の改善が必要な分野を特定することができる。
- (3) 日本の金融政策・市場の経験と現状を理解し、自国の課題解決に応用する検討材料を説明できる。
- (4) 以上の知識を基に自国が抱える課題に対する有効な解決策を導き出すことができる。

【対象組織】

中央銀行

【対象人材】

課長職以上

内 容

(事前活動)
各国の中央銀行、金融政策、金融市場の課題についてポジションペーパーを作成する。

(本邦研修)

【講義】
中央銀行の役割と機能の概観、金融政策の基礎と実践、日銀と金融政策の変遷、金融市場と中央銀行の役割

【訪問】
日本銀行、民間金融機関

【発表及び討議】
各国の中央銀行・金融政策・金融市場に関する現状と課題の発表、各国の課題解決に向けた議論、政策提言の作成と発表

本邦研修期間

2019/1/27～2019/2/8

担当課題部

産業開発・公共政策部

所管国内機関

JICA東京（産業公共）

関係省庁

実施年度

2016～2018

主要協力機関

一橋大学、
日本銀行

**特記事項
及び
ホームページ**